

# 2019年12月期第2四半期

## 日東精工 売上高一六七億円(前年同期比3.9%増)

日東精工(本社東京都練馬区、材木正吉社長)の2019年12月期第2四半期(2019年1月1日～6月30日累計)決算報告によると、売上高が一六七億八〇〇万円(前年同期比3.9%増)となった。営業利益は三億二、七〇〇万円(同、4%減)、



材木社長

経常利益が一四億一〇〇万円(同7.2%減)で、親会社株主に帰属する当期純利益八億九、六〇〇万円(同4%増)となった。世界で認められ、求められるモノづくりのソリューションを自ら指す「ビジョン」とする長期経営計画をスタートしており、そのファーストステップとなる中期

経営企画「NIDOH SEIKO Mission 2022」のもと、今後グループ全体での各種施策を通じて企業価値の更なる向上を図る。第2四半期のセグメント事業別の経営成績及び

活動内容は次の通り。ファスナー事業部では、売上高一九億四、四〇〇万円(前年同期比4.4%増)、営業利益は二億八、五〇〇万円(同40.6%減)。国内外グループ会社との連携強化による販路促進展開とともに、自動車の軽量化並びに製造コスト削減の貢献に樹脂用セルフマッピンねじ「カラーレスタイト」の販売を開始するなど、自動車関連業界を中心に需要の拡大に努

めた。産業事業部では、売上高三六億五、四〇〇万円(前年同期比1.9%増)、営業利益は九億七、四〇〇万円(同5.4%増)。海外グループ会社との連携強化による新たな市場開拓に取り組んだほか、自動車関連業界を中心に評価の高い高機能型トワイパー「SD6001コントローラシリーズ」のEU地域共通安全基準「CEマーキング」を適合させた。

制御システム事業部では、売上高一〇億五、九〇〇万円(前年同期比10%増)、営業利益は六、七〇〇万円(同56%増)。海外での事業拡大を目指す「シオカルテ」の産学研

究を強化し、極小サイズの超小物部品専用の検査選別装置「ミストルフト」の市場投入を行った。また、今期の主なトピックスでは▽厚生労働大臣から「えるほし認定企業」の最高位である、三

つ星を取得、▽会社ロゴマークの刷新▽「位置補正カメラ搭載ねじ締めロボット」を京都府立工業高等学校へ寄贈、▽タイ国立カセサート大学を含む4者で地盤調査の共同研究へ向けた覚書を調印、▽中国・広州に販売

拠点を開設し、取引先が集積する華南地区における顧客サービス力などの強化。なお2019年12月期(2019年1月1日～12月31日累計)の連結業績予想は計画通り、売上高三五四億円(前年同期

比4.8%増)、営業利益三億円(同4.9%増)、経常利益三億五、〇〇〇万円(同1.7%増)、親株主に帰属する当期純利益二億五、〇〇〇万円(同1%増)、1株あたりの年間配当は55円を予定

び活動内容は次の通り。ファスナー事業部では、売上高一九億四、四〇〇万円(前年同期比4.4%増)、営業利益は二億八、五〇〇万円(同40.6%減)。国内外グループ会社との連携強化による販路促進展開とともに、自動車の軽量化並びに製造コスト削減の貢献に樹脂用セルフマッピンねじ「カラーレスタイト」の販売を開始するなど、自動車関連業界を中心に需要の拡大に努

めた。産業事業部では、売上高三六億五、四〇〇万円(前年同期比1.9%増)、営業利益は九億七、四〇〇万円(同5.4%増)。海外グループ会社との連携強化による新たな市場開拓に取り組んだほか、自動車関連業界を中心に評価の高い高機能型トワイパー「SD6001コントローラシリーズ」のEU地域共通安全基準「CEマーキング」を適合させた。

制御システム事業部では、売上高一〇億五、九〇〇万円(前年同期比10%増)、営業利益は六、七〇〇万円(同56%増)。海外での事業拡大を目指す「シオカルテ」の産学研

究を強化し、極小サイズの超小物部品専用の検査選別装置「ミストルフト」の市場投入を行った。また、今期の主なトピックスでは▽厚生労働大臣から「えるほし認定企業」の最高位である、三

つ星を取得、▽会社ロゴマークの刷新▽「位置補正カメラ搭載ねじ締めロボット」を京都府立工業高等学校へ寄贈、▽タイ国立カセサート大学を含む4者で地盤調査の共同研究へ向けた覚書を調印、▽中国・広州に販売

拠点を開設し、取引先が集積する華南地区における顧客サービス力などの強化。なお2019年12月期(2019年1月1日～12月31日累計)の連結業績予想は計画通り、売上高三五四億円(前年同期

比4.8%増)、営業利益三億円(同4.9%増)、経常利益三億五、〇〇〇万円(同1.7%増)、親株主に帰属する当期純利益二億五、〇〇〇万円(同1%増)、1株あたりの年間配当は55円を予定